

ゆいちゃん は シリタガクソ!!

オニってなんだ

星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第81号

発行
浄土宗児童教化連盟

発行人

関 恒明

〒390-0851

長野県松本市大字

島内2464

高松寺内

TEL 0263-47-3409

FAX 0263-47-8144

へびイチゴ

詩・絵 今井康隆

へびだって

好きなものあるさ

カエルやコオロギ

ちいさなバッタ

へびだって

好きなものあるさ

へびイチゴなんて

大きい

近くに行っても

食べやしない

赤く見える

舌のせいか

人間なんて

えらくない

勝手な名前

つけないで



※へびイチゴはまつ赤なイチゴに見えるが、へびは食べない。美味しくはないが食べられて、ジャムなどに加工可。薬用に痛みかゆみに効果有り。

春の夜の出来事

文・絵 星木 レイ

真理ちゃんには、三人のいとこがいます。九つ上の雅春君、七つ上の節子ちゃん、そして一番仲良しの二つ上のりなちゃんです。

いとこ達はお母さんの実家の山寺に住んでいます。お寺の和尚さんのおじいちゃんとお掃除で忙しいおばあちゃん、盆栽と写真が好きなおじちゃん、ご飯を作ってくれるおばちゃんと、七人で暮らしています。

長い石段を上った左手が本堂、奥に井戸があつて、右手にお参りに来た人が休む広間があり、その奥で皆が暮らしています。

お台所には薪でご飯を炊くおくとさんと呼ぶ大きな釜があります。薪で炊いたご飯はとてもおいしいし、おばちゃんの甘い玉子焼や、おばあちゃんの手作りのお漬物も真理ちゃんは大好きです。でもお風呂は五右衛門風呂で、木のフタを足でふんで入らなくてはいけないので、真理ちゃんはちよつと苦手です。ひっくり返りそうで怖いのです。それに山寺なので、巨大なクモやム

カデやらがうようよいいます。めちやくちや恐いです。おトイレは広間を囲む廊下をグルウと回った奥にあります。勿論、水洗ではありません。手を洗う水はバケツをつりさげたようなのがあつて下の突起をピコピコ押すと水が出てくるので、それで洗います。その下にはバランが植えてあつて、したたり落ちた水で濡れてツヤツヤとしています。夜に行くこのトイレもめちやくちや恐いです。

広間の前庭からは街が一望でき、すぐ崖になっていきます。母屋の裏はすぐ山がせまつていて、つまりこのお寺は山の中腹にへばりつくように建っていました。

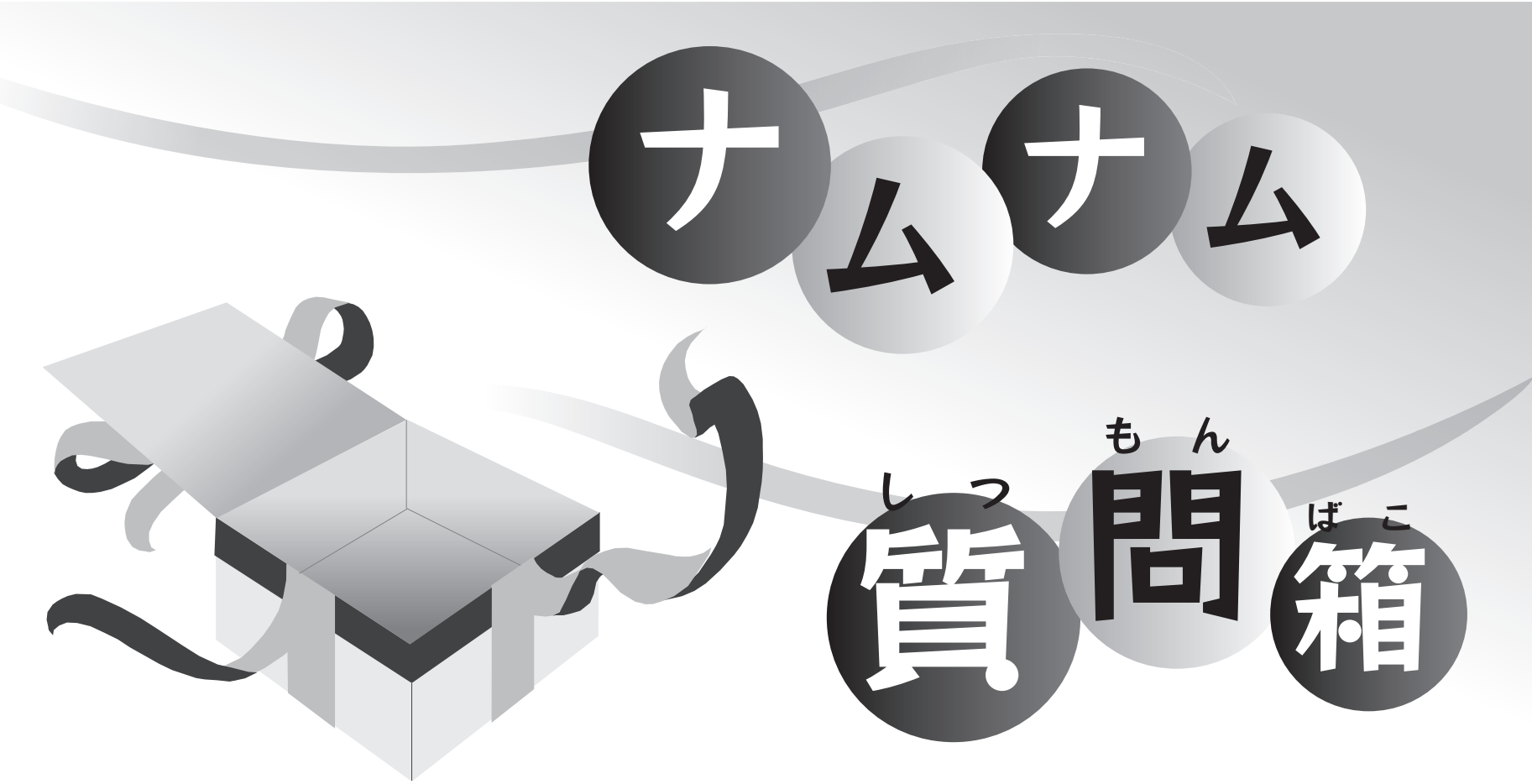
ある春の日、いつものようにお母さんとお寺に遊びに来た真理ちゃんは一人で泊まることにしました。「大丈夫？」と心配するお母さんに、「平気！りなちゃんと寝るんだあ」と真理ちゃんと、りなちゃんは嬉しそうに笑いました。その夜、真理ちゃん、りなちゃんと節子ちゃんの間に寝ました。夜中にふと目が覚めた真理ちゃんは、まるで家を取り囲むように大ぜいの人の歌う声を聞いたのです。その大合唱は、まるで大きな輪が縮んだり、広がったりするように、大きくなったり、小さくなったり、小ざくなったり、



りしながらいつまでも続きました。前は崖、うしろは山で、取り囲むことなんてできないはずなのに、まるで宙に浮かびながら歌っているおと思えませんか。真理ちゃんは恐くなつてりなちゃんを起こそうとしましたが、声が出ませんでした。仕方なく布団をかぶっているうちにいつの間にか寝てしまいました。

夜が明ると何事もなかったかのように、暖い春の日ざしが注いでいました。不思議な出来事はそれっきりありませんでしたとさ。

おしまい



質問

どうすれば世界が平和になりますか

(小学六年 女子)

答え

「戦争は絶対に起こしてはいけません」全世界・すべての人々が理解しているはずなのに、戦争が起きます。なぜでしょう。

「この国を統治している政権はひどい。我が国が統治した方が、この国民は幸せになる。今の政権を倒すために攻撃しよう。」と思うのか「ここには資源がたくさんある。奪ってやろう。」と思うのか。どのような理由にしろ、戦争は絶対起こしてはいけません。しかし争いが絶えません。絶えない大きな原因の一つは「大切な人が傷つけられた。報復だ。」との思いでしょう。

大国からの攻撃により自分の大切な人が傷つけられる。家族や友人を失った人もいるでしょう。何とかして復讐したい。

力では叶わない。自分の体に爆弾を巻いて大国の市街で爆発させる。市街地で犠牲者が出る。大国は攻撃を繰り返す。憎しみが憎しみを生み、怨みが怨みを重ねていきます。

浄土宗を開かれた法然上人のお父様漆間時国公。夜討ちにより人生の最期を迎えます。仇討ちが当たり前の世の中で、幼少の法然上人にそれを禁じました。

「かたき討ちは永遠に続く争いの始まりとなる。怨みを捨て、あなたは僧侶になり菩提を弔いなさい。」と諭されました。憎しみや怨みは許すことでしか満たされることがないのです。

平和な世界にするために、私たちができること。それは平和を願うこと。願いつづけることが大切です。

世界が平和であり 良い天候が続きます災害や感染症も起こらず 国も人も穏やかに暮らし 兵や武器を用いる必要もなく みんなが人格を高められる毎日でありますように 皆で願いましよう

暮らしの中の仏教語

しよつちゅう



「あの子は、しよつちゅう宿題をさぼっている」
「あいつは、しよつちゅう遅れてくる」
私たちは「いつも」「常に」といった意味で「しよつちゅう」という言葉を使います。
実はこの「しよつちゅう」という言葉。仏教語です。今から約2,500年前に仏教を開かれたお釈迦様。お釈迦様はこの世の生き方や本当の幸せについて、人々に説かれました。法を聞かれた方々の中にはお弟子さんになり、お釈迦様の教えに対する理解を深めていきました。60人ほどお弟子さんができた時のことです。

お釈迦様は「弟子の皆さん、私の教えを良く受け取りました。これから多くの人々が、より良い生き方、本当の幸せを手に入れてもらうために、色々な場所を巡り歩きなさい。団体で行動せずに1人で歩き布教しなさい。」と宣言されました。

さらに「初め善く、中ごろも善く、後（終わり）も善い、道理と表現を兼ねそなえた法を説きなさい。」とさとされました。つまり、初めから最後まで、常に道理をわきまえた教えを説くようにお弟子さん達に自覚をうながしました。

この「初・中・後」（しよ・ちゅう・ご）の後が省略され、（しよちゅう）となり、さらになまって「しよつちゅう」となりました。

「あの子は、しよつちゅう宿題を真面目にやる」

「あいつは、しよつちゅう時間通りにくる」

本来の仏教で使われていた意味の様に、「いつも」「常に」よいことに使われるような生活を送りたいものですね。

ちがいがし

みんなよう
考えよう



絵：岡本こすえ



右の絵と左の絵の違いを5つ
見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。
しめきり令和8年7月31日です。

送り先

〒390-0851

長野県松本市大字島内2464

高松寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0263-4713409

FAX 0263-4718144

前回の答え



お知らせ

◆みなさんからの記事 wait しています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait しています。絵や作文 お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は

〒390-0851 長野県松本市大字島内2464 高松寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0263-4713409 FAX 0263-4718144

感想もいっしょに書いてくださいね。

ぷくぷく編集室

「ひらがなに開く」という出版用語があります。本来漢字で書ける言葉をあえて「ひらがな」で書くことをいいます。こうすることで文章をやわらかく、読みやすくする効果があります。

たとえば「大変身に着ける」とが好きな人」の場合「大変身」と読みまちがえるかも知れないので、「たいへん身に着けることが好きな人」というように、わざとひらがなのままにするということです。また漢字が続く文章も読みにくいので、ひらがなにする場合もあります。

でも逆にひらがなばかりの文章はどうでしょうか。たとえば「すきなあそびはなんですか」これも読みにくいですね。「好きな遊びはなんですか」と漢字とひらがなを使うと読みやすくなりますね。習っていない漢字があるかも知れないので、みんなが読めるように漢字に全部フリガナをふっておくとい

いですね。

